

地域医療の支えとなる**看護人材**を育てる“看護管理”を開催しました！

日時：令和5年5月27日（土）13:30～16:30

第1部：講演

講演1



講師：常磐大学看護学部・大学院
角田 直枝 教授

講演2



講師：社会医療法人恒貴会
訪問看護ステーション愛美園 中島 由美子 所長

講演1

角田先生は、がん看護専門看護師、看護師特定行為研修修了者としての自己の看護実践や訪問看護ステーション管理者、県立病院看護局長としての看護管理の経験をもとに、地域包括ケアシステムに求められている看護管理者の役割機能や、看看連携体制構築に向けた人材育成に必要な技能(スキル)、さらに看護師特定行為研修修了者の具体的な活用方法についてお話されました。

講演2

中島先生は、訪問看護管理者の実践をもとに訪問看護の質の向上に向けたマネジメントや多様なキャリアを活かした教育支援体制、地域に必要とされる特定行為研修修了者の効果的な活用方法の実際と専門性の高い看護師による訪問看護の評価（診療報酬改定）についてお話されました。

第2部 ワールドカフェ



医療機関 ゲスト
常磐大学看護学部 角田 直枝 教授
社会医療法人善仁会 岩部 仁 看護部長



訪問看護ステーション ゲスト
訪問看護ステーション愛美園 中島 由美子 所長
訪問看護ステーション
なでしこ3号館 中村 久美 統括所長

参加者は、35名（医療機関14 訪問看護ステーション7 学生4 関係機関10）でした。ワールドカフェでは、「好循環を生み出す看護人材の育て方、活かし方」について自由に意見を出し合いました。

参加者のアンケートより、「管理者としてのマネジメントや人材育成のあり方を学び、自己の取り組む課題が明確になった」「新人訪問看護師育成プログラムの紹介や新任訪問看護師の教育支援体制が参考になった」「過疎地域での訪問看護ステーションでは特定行為研修を受けても活用できないと思い込んでいたが、医師不足だからこそ必要であると理解できたので受講体制を考えていきたい」等のコメントがあり、各地域の実情に応じた看護人材育成のためのビジョンが明確となり、実現に向けた方策について考える機会になったようです。また、このような機会を作ってほしいという声をいただきました。今回の意見を次回につなげていきたいと思ひます。